

エコフィードの推進に向けた平成19年度概算予算等の概要について

エコフィード（食品残さの飼料化）対策

1 概要

（1）エコフィードの推進（食品残さ飼料化対策推進事業）

30（30）百万円

ネットワークづくり

・畜産団体、食品産業団体等の協力の下、全国的な飼料化や残さの供給実態に関する調査の実施・データベース化及びITを活用した地域情報システムの構築。

エコフィード認証制度の創設

・畜産農家がエコフィードを安心かつ安定的に利用するため、エコフィード認証制度協議会において、配合飼料メーカー等のエコフィード製造・利用事業体の認証やエコフィード活用畜産物等に対する表示認証の検討。

普及啓発

・食品産業関係者、生産者、消費者などを対象としたPR資料等の編集・作成、エコフィード関係者による推進会議、シンポジウム、技術研修会の開催等。

（2）エコフィードへの取組に対する直接支援

未来志向型技術革新対策事業7，586（0）百万円の内数

・エコフィード技術の波及を図るため、原料や製品の収集・運搬が県域を越えるような大規模で先端的・モデル的な取組について、国による直接採択により飼料化施設の整備を支援。

対象となる飼料化施設：加工利用施設（分別及び収集施設、原料保管施設、製品保管施設、クッカー、調製装置、乾燥装置、加熱殺菌装置等）、公害防止施設及び附帯施設。

2 事業実施主体等

1．については、民間事業者（公募型）

2．については、農業協同組合（連合会）、公社、農事組合法人、事業協同組合（連合会）、企業組合、協業組合 等

3 補助率

1（1）については、定額

1（2）については、1/2以内

[担当課：生産局畜産部畜産振興課]

リサイクル飼料利用促進

6 1 百万円

1 概要

- ・ 企画検討委員会の開催
事業の実施設計を行う企画検討委員会の開催
- ・ 安全性確保ガイドラインの作成及びフォローアップ
原料収集、運搬、処理・加工、利用段階のハザード分析・遵守事項をとりまとめ、関係者が踏まえるべきガイドラインを作成。さらに、現場でのガイドライン遵守実態調査を実施。
- ・ 栄養特性評価手法の開発
リサイクル飼料の栄養価を迅速に把握できる栄養特性評価手法の開発
- ・ 指導者（アドバイザー）育成研修等の実施
地域の畜産団体等が開催する地域研修会等への支援

2 事業実施主体等

（社）配合飼料供給安定機構

3 補助率

定額

地域バイオマス利活用交付金

1 6 , 0 0 5 (0) 百万円

1 概要

- （ 1 ）ソフト支援（地域バイオマス利活用推進交付金）
バイオマスタウン構想の策定
バイオマスタウン構想実現のための総合的な利活用システムの構築
- （ 2 ）ハード支援（地域バイオマス利活用整備交付金）
地域における効果的なバイオマス利活用を図るために必要なバイオマス変換施設及びバイオマス供給施設・利用施設等の一体的な整備
新技術等を活用したバイオマス変換施設のモデル的な整備
家畜排せつ物等有機性資源の利活用に必要なたい肥化施設等の共同利用施設等の整備

2 事業実施主体等

- （ 1 ）ソフト支援
市町村、農林漁業者の組織する団体、第 3 セクター、消費生活協同組合、事業協同組合、NPO 法人、食品事業者、食品廃棄物のリサイクルを実施する事業者、バイオマスタウン構想書を策定した市町村が必要と認める法人
- （ 2 ）ハード支援
都道府県、市町村、農林漁業者の組織する団体、PFI 事業者、共同事業者、第 3 セクター、消費生活協同組合、民間事業者等

3 補助率

定額